

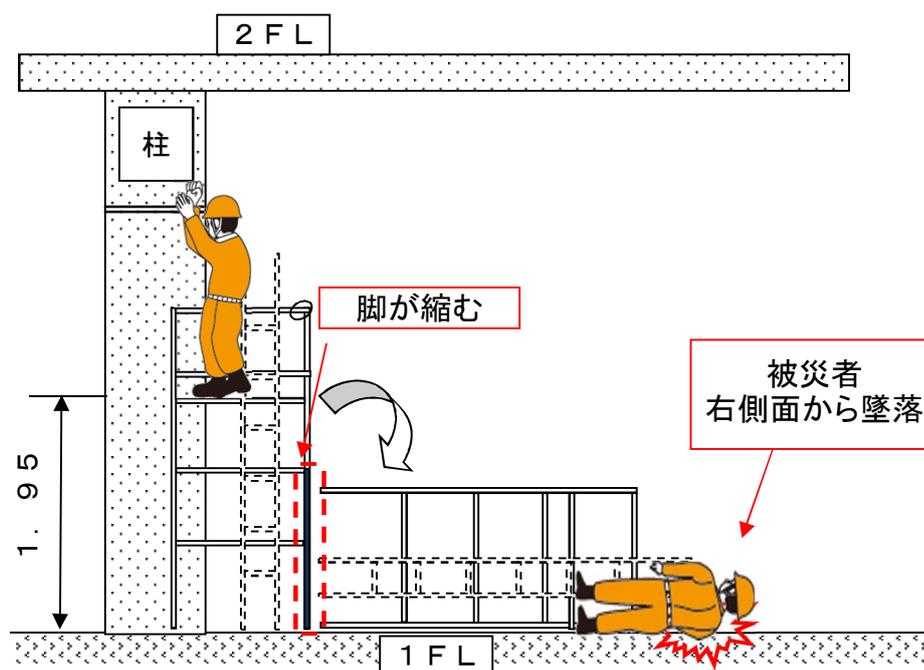
『作業構台の脚が縮み、構台ごとコンクリート床面に墜落』

発 生 年 月	平成 年 5 月
時 刻	8:46 頃
被 災 者	普通作業員(42歳)
傷 病 名 等	右大腿部打撲、右肘 肘頭部粉碎骨折(関節内骨折)--(休業6週間-入院)

◎ 発生状況

・被災者(一次下請所属)は朝礼及びKY活動後、作業指示に従い1階柱の頭部を養生しているガムテープを剥がす作業を行うため、アルミ製作業構台(ラクラク台 H=1.95m)にあがり、手すりに安全帯を掛け作業を開始したところ、作業構台の伸縮式脚部4本の内1本が縮んだため、構台が傾きバランスが崩れ、構台ごとコンクリート床面に落下し負傷した。

◎ 被災状況



◎ コメント

- ・作業構台の伸縮式脚部のストッパーがガイド穴に正しく入っておらず、被災者が構台上に載ったため、その荷重で作業構台脚部が縮んだ。
- ・作業開始前に構台の点検を実施しているが、脚部の異常に気付かなかったことを踏まえ、朝礼等で始業前点検の確実な実施を求め、職長に確認させることが必要。